

- このたびは東芝照明器具をお買上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝照明器具を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。
- この取扱説明書は同種類の製品と共通となっております。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様・お客様へ

器具取り付けの際のご注意

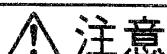


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
- この器具は丈夫なところに取り付けてください。薄いところ、弱いところに取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。



- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災等の原因となります。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因になります。
- 電源周波数50ヘルツ(Hz)60ヘルツ(Hz)用の区別がある器具は、必ず電源周波数にあった器具をご使用ください。間違えて使用されるとランプの寿命が短くなったり過熱して火災の原因になります。



- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災、絶縁不良の原因になります。
- 器具を取り付ける際、壁紙、クロス貼りなどの接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。メッキや塗装などの変色やサビの原因になります。



- 暖房器具、ガス器具等の真上、付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因になります。(この器具は、5°C~35°Cの温度範囲で使用するように、設計しております。)



●お客様へ

使用上のご注意



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。



- ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプのご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因になります。



- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因になります。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因になります。



- ランプホルダー使用の器具はランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下の原因になります。



- スイッチ引きひも付きの器具はスイッチの引きひもを器具や、ランプにからませないでください。また、引きひもを強く引いたり、はじいたりしないでください。ランプ、器具の破損、落下の原因になります。



■お手入れのしかた

常に明るく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。

器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。

- カバーはぬるま湯または中性洗剤を浸し布をよくしぼってから洗いてください。このとき、ぬれた手でソケット部分に触れないでください。
- ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- [ご注意]**
 - 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
 - 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり腐食の原因となります。

- 電気部品を、洗剤や薬品等でふかないでください。部品の劣化による感電や火災の原因となります。

△警告 器具・ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因になります。

- この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。

TOSHIBA

あかるい明日を技術でひらく

東芝蛍光灯直付器具取扱説明書

このたびは東芝蛍光灯直付器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

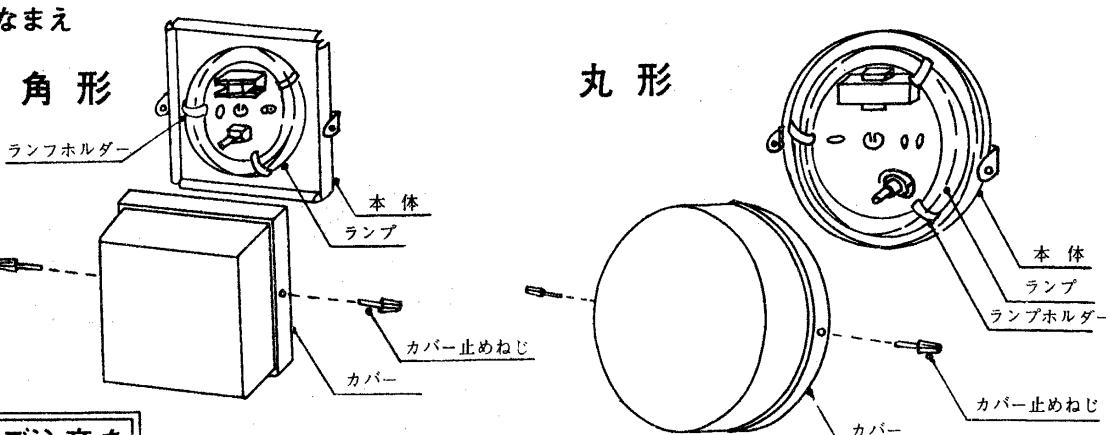
この取扱説明書は同種類の蛍光灯直付器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。

一般の方の工事は法で禁じられております

● 各部のなまえ

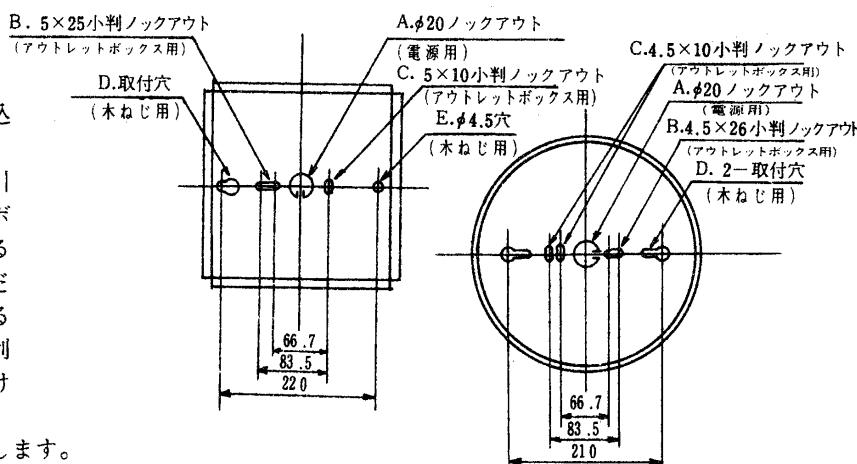


● 特にご注意を

- ① 必ず電源周波数に合った器具をお使いください。
蛍光灯器具には、電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください(ご不明の場合はお買いあげの販売店におたずねください)。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのもとになります。
 - (イ)贈物としていただいた場合などには特にご注意ください。
 - (ロ)電源周波数のちがった地域にご転居のときは部品の交換が必要です。お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。
- ② この器具は天井や壁面の丈夫なところに取り付けてください。薄い(1cm以下)天井や壁面などに取り付けますとねじ止めが弱く、振動などで器具が落下するもとになります。
- ③ 紙や布などを器具の上に置いたり、かぶせたりして使用しないでください。器具の温度が高くなり、火災などの事故のもとになります。
- ④ 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分発揮できないばかりか大変危険です。

● 器具の取り付けかた

- ① Aノックアウトを打ち抜き、付属の電源ブッシュをはめ込んでください。
- ② 電源ブッシュより電源線を引きだしてからアウトレットボックスのカバーに取り付ける場合はB・C穴を利用してください。直接壁面に取り付ける場合はD穴またはD・E穴を利用し付属の木ねじで取り付けてください。
- ③ 電源線と器具口出線を接続します。その際、器具内で電線がたるまないように短めに切って接続してください。



● ランプの取り付けかた

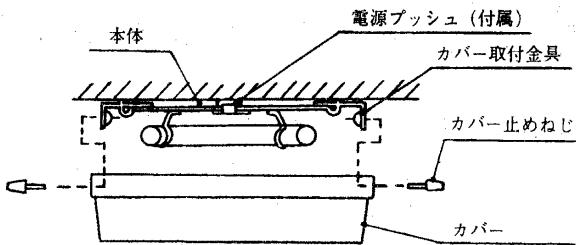
- ① ランプ口金の↑印にランプソケットを合わせて差し込んでください。
- ② 点灯管がソケットに完全に取り付けられているか確認してください。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください

● カバーの取り付けかた

本体のカバー取付金具とカバーの穴とを合せカバー止めねじで固定してください。



● ご注意とお願い

- ① この器具は5℃～35℃の範囲で使用するよう設計しております。取り付け際はご注意ください。

例えば電気、ガス、石油ストーブ等の暖房器具の真上やその附近、または湯気の直接あたる場所などには取り付けないでください。明るさや寿命などの性能が低下するばかりか危険です。

- ② ランプ着脱に際しては必ず電源を切って行ってください。またランプホルダーを強くはじくとランプが破損することがありますから注意してください。

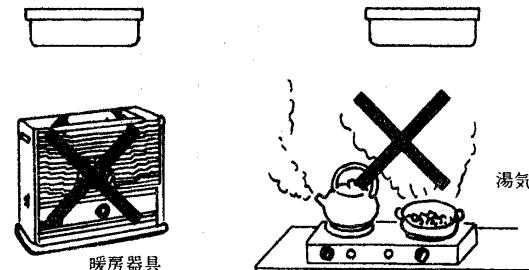
- ③ ランプ交換の際には

20Wの器具の場合 東芝蛍光ランプ〈サークライン〉 20ワット

30Wの器具の場合 東芝蛍光ランプ〈サークライン〉 30ワット

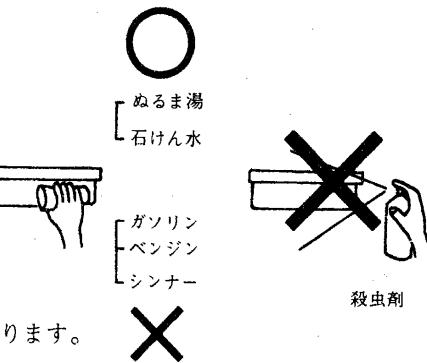
とご指定ください。

- ④ 点灯管交換の際には、東芝点灯管FG-IE
とご指定ください。



● お手入れのしかた

- ① 器具のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
- ② カバーはぬるま湯または石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ③ 器具をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- ④ 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となりま傷つけたり、腐食の原因となります。
- ⑤ ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- ⑥ 本体は電気掃除機またはハタキなどでホコリをはらうようにしてください。



● 修理サービス

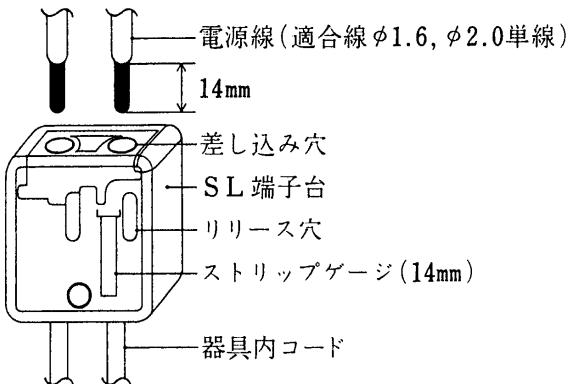
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買いあげの販売店(工事店)、またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

**東芝ライテック株式会社
照明電材事業部**

〒140 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル)
TEL (03) 5463-8766

電源線の接続方法

1. 電源線の被覆をSL端子台のストリップゲージに合わせてむいてください。
2. 電源線をSL端子台の差し込み穴に押し込んでください。
3. 結線後はランプに触れないよう電源線を天井内に押し込んで器具内でたるまないようにしてください。



■電源線をはずす時は電源を切ってからマイナスドライバーをリリース穴に差し込んで電源線を引抜いてください。

お客様へ

(001B55)B

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。